



- No. **42**
2020
- 特集／新学長に聞く
 - 特集／佐賀大生座談会(就職活動で知る「社会と自分」)
 - 特集／夢を掴んだ先輩たち
 - 教育紹介／スポーツボランティアの育成
 - 活動紹介／佐賀大学授業開放
 - 教育紹介／「地域創生フィールドワーク」の取り組み
 - 活動紹介／佐賀大学の研究力と産学連携を牽引するURA
 - イキイキ佐大生／座圧軽減装具『フワット』経済産業大臣賞ビジネス大賞受賞
 - サークル紹介／「剣道」「男子バレー」 ●お知らせ
 - 活動紹介／農業の新しいかたち
 - 研究紹介／バイオ3Dプリンターでつくる人工血管

未来に挑戦する佐大生の志を支えます



開かれた学びへ

1949年に旧制佐賀高等学校、佐賀師範学校などを母体に創設された本学は、現在県内の本庄・鍋島・有田の3キャンパスに、6学部6研究科を有する国立総合大学として、地域に根ざし発展を続けています。昨年10月の学長就任時に発表した「志、挑戦、そして未来へ」といふキャッチコピーは、新たに組織した学

長企画室で何度も議論を重ね、多くの方に伝わるようシンプルな言葉でまとめ、新しい指針として掲げました。学生は各自志を持って、自らの道に挑戦するため、大学へ入学します。そして専門知識と社会で活躍する力を付け、未来へと羽ばたきます。彼らが大いに学び、成長する過程を、保護者の皆さまには力強く支えていただけますよう、お願い申し上げます。

また佐賀大学は新しく、保護者の皆さまにとつても「学ぶ場」としてご利用いただけるようになりました。昨秋スタートした一般向けの「授業開放」は、大学の教養科目を開放し、学生と同じ授業を受講していただけます。昨年は教養科目34科目、4月からは専門科目も14科目加え、今後も科目数を増やしていく予定です。受講生は地域にお住いの方が多く、中にはご主人が哲学を、奥さまが物理学を受講なさっているご夫婦もいらっしゃいます。また、企業研修

兒玉浩明

Kodama Hiroaki

昭和35年生まれ、大分県出身。
佐賀大学に関わる人が誇れる大学、佐賀大学で学びたいと選ばれる大学、地域社会から期待、信頼される大学を目指します。

理事紹介



山下宗利 YAMASHITA Munetoshi
教育・学生担当(理学博士 大阪府出身)

昭和60年 筑波大学大学院地球科学
研究科修士課程修了

昭和63年 筑波大学大学院地球科学
研究科博士課程単位取得

学生時代は地理学のフィールドワークで、暮らし、各地の作物、地形、都市の様子を自分の目で確かめるため全国各地を飛び回っていました。今も「フィールドが実験室」が信条です。佐賀大の学生は真面目で、自分で課題を見つける力があります。学生自ら能力を高められるよう、様々な教育・支援活動を行っています。



吉田哲雄 YOSHIDA Tetsuo
社会貢献担当(工学博士 佐賀県出身)

昭和47年 九州大学大学院工学系研究科
修士課程修了

平成 8年 株式会社ワイビーエム
代表取締役会長

平成29年 取締役会長(現在に至る)

平成25年から理事を務め、佐大生には伸びしろがあると感じています。ジャンルにとらわれず多くの本を読み、視野を広げてほしいと思います。保護者の皆様にはご子息・ご息女の佐賀話に耳を傾け、また司馬遼太郎著『歴史を紀行する』の「体制の中の反骨精神(佐賀)」などで、佐賀の歴史に触れていただければ幸いです。



寺本憲功 TERAMOTO Noriyoshi
研究・社会連携・国際担当(医学博士 長崎県出身)

平成 5年 九州大学大学院医学系研究科
博士課程修了

平成11年 英オックスフォード大学大学院
博士課程修了(D.Phil.)

佐賀は歴史ある静かな街で、留学したオックスフォードと共に通点を感じます。当時学んだ、高貴な者には責任があるという意味の「noblesse oblige」(ノブリスオブリージュ・仏語)。大学に置き換えれば、学んだ者は社会に対し責務があると言うことです。学べる環境へ感謝し、社会に還元できる力を育んでいきましょう。

として、利用いただいている事例もあります。最前列で熱心に授業をお聞きになる受講生の方も多く、その姿に学生も刺激を受けている様子です。

海外には、長期間籍を置くこと可能な大学や、卒業して数年後にカムバップでくる制度を持つ大学もあります。幾つになつても興味関心を持ち、学びたいと思われる志を佐賀大学は支えます。きっかけは何であれ、長く学びに触れていただけるよう、私たちも工夫してまいります。

学び続けて 志ある専門家に

私は理科教師を目指し本学理工学部

へ進学しました。教育実習で母校の高校へ戻った際、当時の先生と再会しました。先生はベテランながら授業の予習復習を欠かさず、各社の教科書だけでなく、海外で使われている教科書だけではなく、プリントにまとめ生徒に配布するほど熱心でした。その姿に学ぶことの尊さと教える側の誇りを深く感じたのを今

も覚えています。

本学では自然豊かな環境と少人数制による丁寧な指導のもと、大きな可能性を秘めた学生たちが日々研鑽を積んでいます。大学とは、各々が選択した学問の専門家になる場所です。誇りを持ち、さらに学び続け、志高く自らの道を邁進してくれる



ことを願っています。

略歴

昭和 58 年 佐賀大学理工学部卒業

昭和 63 年 九州大学大学院理学研究科博士課程修了(理学博士)

同年 佐賀大学理工学部助手

平成 6 年 佐賀大学理工学部助教授

平成 21 年 国立大学法人佐賀大学理工学部教授

平成 22 年 国立大学法人佐賀大学大学院工学系研究科教授

平成 23 年 国立大学法人佐賀大学アドミッションセンター長

平成 27 年 国立大学法人佐賀大学学長補佐

平成 29 年 国立大学法人佐賀大理事・副学長

令和 元 年 国立大学法人佐賀大学長



ROUND-TABLE DISCUSSION

佐賀大生座談会

就職活動で知る 「社会と自分」

希望を叶え就職を決めた4年生が、
就職活動を通して体験したこと、感じたことを
佐賀大学での学生生活とともに振り返り
今だから言える思いを語ります。

(2020年1月取材)



石井 達也
経済学部経済学科
▶佐賀県庁(教育行政区分)

石井 最初は民間も視野に入れながら、軽い気持ちで2年11月に早期公務員講座を受講しました。3月まで週に2、3回の講座を受け、3年生4月のガイダンスで公務員の仕事の幅広さを知つて魅力を感じ、本格的に意識するようになりました。

大原 私は最初から食品の商品開発を目指していました。(株)キュー

これから伸びる業界はどこか考えた結果、海外と比較して日本が遅れているキヤツ

天ペイや楽天銀行を開ける樂天(株)に注目しました。



憧れから「志望」へ

金子 インターンシップへ行つたことで、私がやりたいのはアイデアを出し合つて企画を練り、実現するような仕事だと、考えるようになります。

電通九州の方が講師を務める授業をきっかけに声をかけていただき、会社訪問しました。広告代理店はパソコンでデザインするような

クリエイティブな仕事ばかりと思ったら、地域活性のイベント企画などもあり、私がやりたいと考えたことが目の前で行われていました。

石井 最初は民間も視野に入れながら、軽い気持ちで2年11月に早期公務員講座を受講しました。3月まで週に2、3回の講座を受け、3年生4月のガイダンスで公務員の仕事の幅広さを知つて魅力を感じ、本格的に意識するようになりました。

松原 小学生の頃からプログラマに憧れていて、理工学部に進みました。ゲームクリエイターにも興味があり業界について調べたのですが、少子化の影響で採用状況が厳しいことが分かりました。

これから伸びる業界はどこか考えた結果、海外と比較して日本が遅れているキヤツ

天ペイや楽天銀行を開ける樂天(株)に注目しました。



金子 華之
芸術地域デザイン学部芸術地域デザイン学科
▶(株)電通九州



松原 由希
理工学部知能情報システム学科
▶ 楽天(株)

「今」への集中力が未来を作る

石井

私は公務員試験対策に、1日10時間勉強しました。4年6月に試験が始まり、結果が出るのは8月下旬です。周りから民間企業の内定が

出たと聞こえると気持ちが揺さぶられるので、誰とも会わないようにして自分の勉強に集中しました。同じ公務員志望の友人とは励まし合って、先生や先輩には助言をもらい、家族は食事などで体調を支えてくれました。

松原 10時間はすごい…人と会わないように、というのは分かります。

私はスカウトアプリを使って、一対一の面談機会を作りました。他の学生と一緒にだと関東や関西の大学に引けを取ると思ったから。タイミング良く開発担当の執行役員に会うことができ、内定をいただきました。



本庄キャンパス内のOPTiM CAFEにて。

金子

履歴書やエントリーシートを書くために自己分析と他己分析をやり、特に他己分析は楽しかったですね。私の性質について周囲から意見をもらうのですが、重なる部分には信ぴょう性があると思いました。私はマイペースで、頑固らしいです(笑)。

大原

他己分析が楽しいとは(笑)。説明会と面接続きで、毎日が忙しく苦しかったですね。面接ではとにかく覚えてもらおうと必死で、最初の挨拶だけでなく退室前もくり返し名乗りました。私は近況を友人と報告し合つてストレスを発散しました。共感できる仲間がいてくれたのは助かりました。

石井

私は学部内のサークルに入っていたのが良かったです。人前でプレゼンしたり、他大学とやりとりしたり、人と話すこと自体が楽しいと思えるようになりました。それも今につながっていると思います。

松原

私もサークル一辺倒でした。ヨサコイの「嵐舞」の代表になり、大きな大会で賞を取れるチームに成長しました。バンドもやつたし全ても真剣で、充実の4年間でした。

金子

実家のある福岡から他県に出たことで行動範囲が広がり、学科

の授業を通して地域の魅力を知りました。それをこれから仕事で生かせると思うとワクワクします。

大原

花の研究と就活で、私の場合あつという間の学生生活でしたが、先生と仲間に出会えたこと、研究を続けられた環境に、本当に感謝しています。



【OPTiM CAFE】

学生に限らずどなたでも利用できる本庄キャンパス内のカフェ。オプティム・ヘッドウォータービル1F 平日11時～15時(土日祝休) ランチ600円、コーヒー200円ほか



大原 直人
農学部応用生物学科
▶ (株)キューサイ

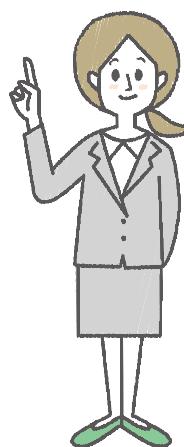
夢を掴んだ先輩たち

2018年度の卒業生・修了生の就職率は、**98.9%**(2019年5月1日現在)となっていて、近年は高い値をキープしています。

社会へ大きく羽ばていったOB・OGのメッセージをご紹介!!

社会人1年目の先輩からのメッセージ

多々市立東原障害中央校 教諭
浜野 真惟子
(文化教育学部卒業)



Q 学生時代にこれを学んでおけばよかつたと思つたことがあります。

現在、発達障害のある子どもたちとの関わり方について悩むことがあります。そのような子どもたちとの関わり方について、もつと真剣に勉強しておけばよかつたと思つています。

Q 今会社に入ったきっかけは?

子どもたちと関わる仕事につきたいと思い、文化教育学部入学しました。小学校や中学校の実習に参加して、私は色々な教科を教えることの楽しさを感じ、小学校の先生を選びました。

Q 現在の仕事について教えてください。

毎日子どもたちと一緒に、新しい発見をし、成長していくことが楽しみです。子どもたちが理解をし、楽しんで勉強をしている姿を見ると、私も頑張ろうと思います。

Q 学生時代の経験で役立ったことがあれば教えてください。

児童館でアルバイトをしたことです。子どもたちが週末に遊びに来る児童館でアルバイトをしていました。実際に子どもたちと関わり、遊んだり、話をしたりするなかで、子どもたちとの関わり方にについて学ぶことができました。また、ボランティアでもそのような活動をしたことはいい経験になりました。

Q 後輩へのメッセージをお願いします。

学校現場での最大の喜びは、子どもたちの成長を感じることができます。日々の職務のなかで、子どもたちのことで悩んだり、しなければならない仕事に追われたりと、大変なことがあるのも事実ですが。しかし、子どもたちと毎日関わるなかで、その苦労を上回るような楽しいことや嬉しいこともたくさんあります。忙しい仕事の日々のなかでも、楽しいことを見つけるためには、自分なりの楽しみやストレス発散方法を持つていることが大切だと思います。ぜひ、

学生のうちに自分の好きなことや、リラックスできることを見つけておいてください。



国立大学法人 佐賀大学

内村千夏

(文化教育学部卒業)

Q 今の会社に入ったきっかけは?

漠然と公務員になりたいと思つていた頃、大学職員の仕事について調べる機会があり、多様な業務を経験できる点や、大学という活力のある場で大学生や教職員のために働く点に魅力を感じ、大学職員を目指すようになります。

Q 現在の仕事について教えてください。

就職支援課に配属され、窓口対応、会社説明会の調整、HPの編集、広報誌の作成などを担当しています。定型的な業務だけではなく、以前より良いものに変更したり新しいことに取り組む機会も多くとても楽しいです。例えば、印刷物は読みやすさを考えレインアウトを変えたり、就職関連の対策講座の予約をWeb上で行えるように変えたりしました。部署の雰囲気も良く、学生や企業の担当者など幅広い世代の方と関わることも魅力です。

Q 学生時代の経験で役立つことがあれば教えてください。

三和酒類株式会社

藤丸裕貴

(農学研究科修了)

Q 今の会社に入ったきっかけは?

アルバイトの経験は役に立っています。ホテルのフロントのアルバイトで習得した電話対応は、よく企業の方から電話がかかってくる今の仕事で役に立っていると思います。また、どんな仕事でも段取りが必要になつてくると思いますが、こうした仕事の順番などを考える習慣もアルバイトをする中で身についたと思います。

Q 学生時代にこれを学んでおけばよかつた…と思つたことがあります。

Q 学生時代にこれを学んでおけばよかつたことがあります。

Excelの操作が勉強不足だったため、効率的に仕事を進めるためにも表計算やグラフ作成など事前に使いこなせるようにしておけば良かったなと思います。

Q 新社会人としてこれから目標を教えてください。

学生の皆さんの就職活動・キャリア形成に役に立つたと思ってもらえるような対応をすることやシステムを作ることが目標です。

Q 後輩へのメッセージをお願いします。

大学には色々な人がいます。ここで出会つたたくさんの人は今後大切な存在になると思います。ぜひたくさんのコミュニティを築いていくください。私はサークルや部活に入つていなかつたので、入つてもつとたくさんの人と関わったかったと少し後悔しています。興味のあることは迷わず挑戦し、人ととの繋がりを大事にしながら、充実した学生生活を送つてください!

Q 学生時代にこれを学んでおけばよかつたことがあります。

私は自社商品すなわち酒類に関する事をもつと学んでおけばよかつたと感じました。もちろん入社してからの研修等を通じて学ぶ機会はたくさんあります、事前にもつと知識があれば研修の際に、より詳しく、そして異なる視点で質問できたであろうと感じています。

Q 新社会人としてこれから目標を教えてください。

私が働いている現場は、主体的に動けば周りの方々も協力してくれるようなありがたい環境にあるので、周りの方々を巻き込みながら、商品の品質を高めることができます。また、いざれは実際に商品の中身を製造する現場も経験し、さらに研究を通じて新たなお酒の価値を見出せる研究になりたいです。

Q 新社会人としてこれから目標を教えてください。

私は現在、製造部門が造つたお酒(麦焼酎、清酒、ワイン等)を容器に充填し、商品がお客様に届く直前の「仕上げ」をする仕事を担当しています。ただ充填を行うだけでなく、お酒や容器の品質に問題がないかの確認も行っています。責任がありプレッシャーのかかる仕事ですが、それがまた楽しくもあります。

Q 学生時代の経験で役立つことがあります。

私は大学で学んだ統計や情報処理の技術が役に立つていると感じます。現場の設備を動かしていると、どうしても故障などのトラブルが生じるため、機械の専門の方にアドバイスを頂きながら、統計を使つてトラブルを取り組みにチャレンジしています。

就職活動において、なによりも大事なことは自分の軸をしっかりと決めて就職活動に臨むことだと思います。また、これから就職活動に臨まる方の中には明確にやりたいことが分からぬ人もいると思います。ただ何となく様々な企業を受けてみると、なぜその企業を選択するのか明確な理由を考えみてください。それを続けていけば自分がやつてみたいことが分かるのではないでしようか。



ボランティアにも満足を



第8回佐賀大学本庄キャンパスジョギング大会

三郎先生が中心となり、そのランナー仲間や学生と一緒に運営されている事もあり、スタッフとランナーが友達だったということは日常茶飯事で、手作り感たっぷりというのもこの大会の特徴です。クリスマスも間近で気温もかなり寒いと予想される中、毎年参加者が増加している理由は、時期的にさが桜マラソンなどマラソン大会に向けて腕試しができる

一方で、毎年の悩みは大会を支えるボランティアの募集です。まさに、ボランティアの支えがなければ実施できない、ボランティアに支えられている大会のため、例年様々な手を尽くしてボランティアを集めています。「ボランティアがいなければ大会が運営できない」。

この問題は、佐賀大学本庄キャンパス

全学教育機構 講師
まち だ まさ なお
町 田 正 直

令和元年12月22日、極寒かつ雨天の中で第8回佐賀大学本庄キャンパスジョギング大会が開催されました。大会の規模は大きくなり、参加者の数は年々増加し、今回は588名ものランナーがエントリーしました。

この大会は、佐賀大学名誉教授佐藤



さが桜マラソン

事、ランニングの専門家から直接アドバイスがもらえる事、周回コースを活かして正確にランニングペースが把握できる事、これらの要因がランナーの満足に繋がっているのではないかと佐藤先生は分析しています。

題ではなく、今後実施される華々しい多くの国際大会や身近な地域のイベントにおいても問題となっています。佐賀大学のインターフェース科目「スポーツイベントとボランティアリーダー」では、この問題に対しても「ボランティアにも満

課題発見・解決のための知識や技能の修得

佐賀大学 学士力

「個人と社会の持続的発展を支える力」の育成

インテラフェース科目は、現代社会が抱える諸問題に目を向けて課題を発見し、解決に向けて取り組む姿勢を通して、授業や演習で学んだ知識や技能を実践の場で活かす力を身につけます。

インテラフェース科目において、学生は自分が関心を寄せるコースのプログラムを1つ選択します。各プログラムでは、講義だけでなく、演習、調査、報告あるいは対話などを組み合わせたアクティブラーニングを志向した教育が展開されます。

足を感じてもらえるイベント作り」をテーマに学生と一緒に考えながら取り組んでいます。



企業の方とのミーティング

●受講した学生の感想

「また参加したい」と思う事を重視したボランティア運営。

講義を通して、イベントの企画・運営を経験したり、ボランティア参加者の目線でイベントを企画することを学んだり、事前準備の重要性や臨機応変に対応することの難しさを学びました。講義での経験は、就職活動や社会へ出いく上で活きてくると思います。

学生のうちに自らボランティアに参加し、さらに「また参加したい」と思えるということは少ないのではないか。だからこそ、ボランティア参加者が「また参加したい」と思う事を重視したボランティア運営が今後は重要なと考えます。

必要な仕事を挙げ、分担する能力を以前よりも身につける事ができた。

この講義は「イベントの参加者だけではなく、ボランティアもまた参加したいと思えるようなイベントを企画・運営する」事を目指しています。講義を通して目標の立て方、イベントを実施して挙がってきた反省、改善点を解消する力、人と関わりながらイベントを企画・運営する力が身につきました。その結果イベントを企画するにあたって、必要な仕事を挙げ、分担する能力を以前よりも身につける事ができたので、これらを社会に出ても何らかの形で活かしたいです。

得られた経験は、今後に必ず活きてくる。

「ボランティアも満足できる」をテーマにイベント作りをしてきました。最初の頃は具体的な案が出ませんでしたが、さが桜マラソンを通して、ボランティア目標で大会の運営を見る事ができ、その経験が、その後に企画したジョギング大会へ還元できたのは大きかったです。「ボランティアにも満足して貢えるイベント」としてという新しい形で、1から作り上げていきました。班ごとに作業や話し合いをすることも多く、班をまとめるリーダーの大切さを学ぶ事ができました。企業の方と一緒に企画を考えたり、企画のプロの方のディスカッションの方法、話しあったことのまとめなどを学ぶ事ができ、とても貴重な経験となりました。

ディスカッションの方法、まとめ方などを学ぶ事ができた。

この講義は誰かを満足させる事を目指して取り組んでおり、例えば、オープンキャンパスでは高校生を、桜マラソンではランナーを、佐賀大学ジョギング大会ではボランティアを満足させるように取り組みました。班ごとに作業や話し合いをすることも多く、班をまとめるリーダーの大切さを学ぶ事ができました。企業の方と一緒に企画を考えたり、企画のプロの方のディスカッションの方法、話しあったことのまとめなどを学ぶ事ができ、とても貴重な経験となりました。

この講義では、学生はイベント作りのための企画書の作成方法や運営方法に加え、リーダーシップやチームビルディングの基礎的知識や人間の自発性に関連する心理学などを学んでいます。さらに、その知識を実践する場として、佐賀県や様々な佐賀県にゆかりのある企業から実践の場を提供してもらっています。佐賀県と佐賀新聞社からはさが桜マラソンでの第14給水所の運営、

EWMファクトリーからは佐賀市立富士小学校をリノベーションしたスポーツ合宿所「SAGA FURUYU CAMP」でのイベント。そして、佐賀大学本庄キャンパスジョギング大会実行委員会からは株式会社JTB佐賀支店と協力しながら大会のボランティア統括という場を提供してもらっています。

今日、様々な場面でボランティアの内申書に記載するためには、ボランティア課題がある事がわかります。高校生が活動に参加する時代です。このようにイベントの経験が本当の意味での自発的に参加するボランティアの育成に繋がると信じています。

サガンドリームスから駅前不動産スタジアムでのホームゲームでのイベント、EWMファクトリーからは佐賀市立富士小学校をリノベーションしたスポーツ合宿所「SAGA FURUYU CAMP」でのイベント。そして、佐賀大学本庄キャンパスジョギング大会実行委員会からは株式会社JTB佐賀支店と協力しながら大会のボランティア統括という場を提供してもらっています。

当日だけ参加したボランティアがそんな想いになれるイベント作りの実現には、受講した学生の感想からも多くの課題がある事がわかります。高校生が内申書に記載するためには、ボランティア活動に参加する時代です。このようにイベントの経験が本当の意味での自発的に参加するボランティアの育成に繋がると信じています。

佐賀大学授業開放

“学び直し 学び始めの 第1歩”を佐賀大学で

佐賀大学は、2019年に全学教育機構生涯学習センターを設置しました。同センターでは、公開講座の開講など、生涯学習に関連する事業を行っており、大学開放を推進しています。その一環として、生涯学習に対する社会及び市民の多様なニーズに応えるため、正規授業科目の一部を「公開講座」として開放しています。

これまでの「公開講座」は、一般の方々向けに内容を検討し、受講されるみなさんのニーズに合わせて企画・実施してきたものでした。

2019年度後学期(10月から2月)の実施状況

2019年度後学期(2019)



佐賀大学は、2019年に全学教育機構生涯学習センターを設置しました。同セン

ターでは、公開講座の開講など、生涯学習に関連する事業を行っており、大学開放を推進しています。その一環として、生涯学習に対する社会及び市民の多様なニーズに応えるため、正規授業科目の一部を「公開講座」として開放しています。

これまでの「公開講座」は、一般の方々向けに内容を検討し、受講されるみなさんのニーズに合わせて企画・実施してきたものでした。

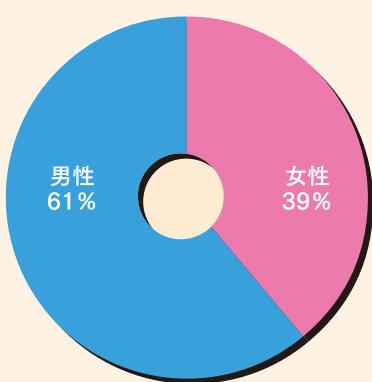
2019年11月に回答いただいたアンケート

受講者からは、次のコメントを頂いています(表現は調整しています)

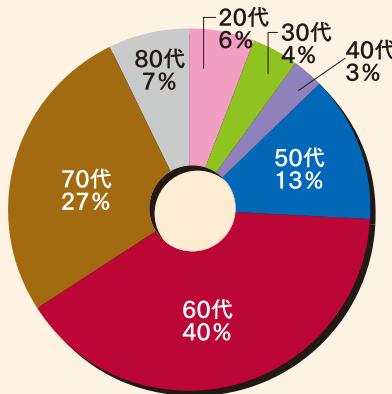
- 教室で学ぶということが新鮮で楽しい
- 知らないことが多く、もっと知りたい
- 講師の体験に裏付けられた知識を教授いただき感動している
- 学生と同じ授業が聴講できることがよい
- 大学生の中にはいって受講するのは刺激的である
- すでにある程度知っている分野であっても、さらに専門的に学ぶことができ有意義である
- 内容が奥深く、充実した時間を過ごせる
- 継続して欲しい、来学期も受講したい

受講者が多かった10科目

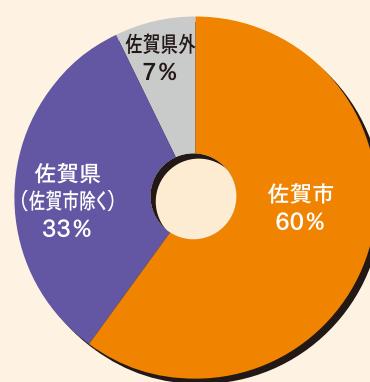
- 「日本史」
- 「映画で学ぶクラシック音楽(文化の分野特別講義)」
- 「栄養科学B」 ●「物理の世界II」
- 「地学の世界」 ●「映画で学ぶ幕末維新(歴史文化II)」
- 「会計学」 ●「心理学A」
- 「心理学B」 ●「経済学」



公開講座受講者の男女比



公開講座受講者の年代



公開講座受講者の居住地域



2020年度前学期 ■授業開放科目一覧■

講習料：1科目 5,000円～15,000円

教養教育

文化の分野

日本史、西洋史、考古学
映画で旅するヨーロッパ
歴史文化I、欧米の文化・文学
英語コミュニケーションI 他

現代社会の分野

経営学、心理学A、教育学
心身の発達過程、法律学
身体表現入門
日本国憲法、地理学 他

自然科学と技術の分野

物理の世界I、栄養科学A
化学の世界B、生物科学の世界B
プログラミング・データサイエンスI
情報科学の世界II 他

専門科目

【教育学部】生物学概論A、植物分類系統学、保育学

【芸術地域デザイン学部】都市・地域空間史

【経済学部】経済学入門、特殊講義(現代経済政策)、経営学入門、基本統計学、法学入門

【医学部】人体の構造と機能(解剖学・生理学)

【理工学部・理工学研究科】グラフと組合せ、理工学基礎科学(ゲーム理論と最適化手法)、情報セキュリティ特論

【農学部】アグリキャリアデザイン

年10月から2020年2月)は、教養教育科目の34科目を授業開放科目と設定し募集を行いました。全ての方に希望された科目を延べ95名(実数70名)の皆さんに受講いただいています。20歳代から80歳代までと幅広い年代の方が受講されています。ほとんどの方は佐賀県内にお住まいですが、近隣県にお住いの方もいらっしゃいます。

2020年度前学期(4月から9月)の実施計画

このような地域の皆さまの

期待に応えるため、2020年度

前学期(2020年4月から9月)は、教養教育科目だけでなく、各学部が実施する専門科

目および大学院教養科目に授業開放の対象科目を拡大することにしました。

授業開放対象科目は、教養教育科目42科目のほか、教育学部・芸術地域デザイン学部・経済学部・医学部・理工学部・

農学部が開設する専門科目の13科目、大学院教養科目1科目を対象とします。

詳細については、2020年度前学期授業開放のパンフレットをご覗ください。パンフレットは佐賀大学全学教育機構生涯學習センター(全学教育機構事務室)に請求いただければ郵送いたします。また、電子版パンフレットは同生涯學習センターWebページより入手できます。

各科目の詳しい内容はシラバス(授業計画、※1)で確認できます。各回で取扱う内容や授業の実施方法等が記載されています。合わせてご覧ください。

おわりに

佐賀大学では「授業開放」を地域の皆さまの生涯学習の一助としていただきたく、実施しております。パンフレットの請求や

ご質問等、お気軽にお問合せ下さい。



佐賀大学本庄キャンパス

【問合せ先】

佐賀大学全学教育機構生涯學習センター

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
Email kouza@mail.admin.saga-u.ac.jp
電話 0952-28-8334

佐賀大学 授業開放

検索

※1)佐賀大学の授業科目は、シラバスと呼ばれる授業計画書を基に実施しています。シラバスはネットを通じて公開しています。

佐賀大学 シラバス

検索



芸術地域デザイン学部 「地域創生フィールドワーク」の 取り組み



有田町の伝統的な町並みで開催された街なかマルシェ「内山百貨店」での展示

◆地域創生の実証の場

芸術地域デザイン学部では、1年生の必修科目「芸術表現基礎」・「地域デザイン基礎」、3年生の選択必修科目「国内外芸術研修」・「有田キャンパスプロジェクト」・「地域創生フィールドワーク」をカリキュラムのコア科目としています。

コア科目の中で「地域創生フィールドワーク」は学生が地域別のいくつかのプログラムに分かれ地域の文化・芸術資源を調査し学外の関係者の協力を得て、それらの資源を地域創生に活かす企画を実施します。学部設置の目的である「芸術を通して地域創生に貢献する人材の養成」を、まさに地域で実践する科目です。

◆アートで地域活性

地域創生フィールドワークを履修する学生は地域別のプログラムから希望に基づいて選択します

令和元年度は佐賀市内の障害者施設と連携したアートプログラム有田町の伝統的な町並みで開催された街なかマルシェ「内山百貨店」での展示などの活動、吉野ヶ里歴史公園の歴史資源を活かした



吉野ヶ里歴史公園の歴史資源を活かしたイベント

イベントの開催など佐賀県内を中心して、7プログラムを実施しています。学生は地域の資源を調べ、展示やイベント、ワークショップなどの企画を立案します。芸術地域デザイン学部で学んだ知識・技術を基礎に、学生の斬新で若々しい感覚を加えたアイデアが出発点です。そのアイデアを地域の関係者および想定される企画参加者のニーズや、場所・時間・材料などの条件も考慮して、実現可能な企画へと練り上げます。企画の広報活動も学生が主体的に行います。フライヤー・パンフレットなどの紙媒体はもちろん、学生の感覚を活かしたホームページ・SNSでも積極的に発信をします。

アートブロクテム展示イベントなどの実践は、芸術地域デザイン学部が目指す芸術を通した地域創生の可能性を実証する場となり、多くの好評を頂いています。学生にとっては、調査や制作の成果、実施する企画がどのように伝わり、感動を与えるか、直に声を聞く機会となります。



佐賀市内の酒蔵として利用されていた建物でのアートイベント

ど3年生のコア科目は、卒業後の進路に向けての活動が本格化する時期と重なります。3年生のコア科目で得られた芸術を活かした地域創生の可能性の実感が、卒業後の地域での活躍の確かなステップになることでしょう。

農業の新しいかたち

— 佐賀県農業への貢献を目指した植物工場 —



本庄キャンパスに設置された太陽光利用型植物工場

佐賀大学農学部では、令和元年6月に本格的なオランダ式の太陽光利用型植物工場がオープンしました。植物工場では、葉物野菜（レタス、チンゲンサイ、ネギ、コマツナ、パクチー、バジル、セルフィール、ディルなど）やトマトを一年を通して生産しています。



附属アグリ創生教育研究センター
教授 ご後藤 ふみ文 ゆき之



農学部以外の学生の実習にも活用されています

● 太陽光利用型植物工場とは？

園芸施設の中で、特に高度な環境制御を行い、周年で作物を生産できる施設を植物工場といいます。室内でLEDを利用してレタスなどの葉菜類を栽培する人工光型と、従来の温室のように太陽光を利用する植物工場に分類されます。佐賀大学の植物工場は太陽光利用型です。

農業の発展に貢献できる、高い専門知識や利用技術を持った人材を育成することを目的として設置され、学生実習、野菜生産、施設園芸学研究を3つの柱として活用されています。

太陽光利用型の植物工場は、葉菜類のほかに、トマトなどの果菜類も栽培できることが特徴です。工場内は、とても清潔に保たれており、土壤を使わずに、養液を使用して栽培しています。病害が発生することがほとんどありませんので、葉菜類は無農薬で栽培しています。



30種類ほどの野菜が周年で栽培されています

● 植物工場における研究

植物工場の室内環境は高度に制御されていますので、それを生かして、従来の栽培方法では難しい特定の有効成分を豊富に含む高機能野菜、佐賀では見られない珍しい野菜、季節に関係なく収穫できる品質な野菜などを研究しています。また、たくさんのセンサーを使って、植物工場内の環境（温度、湿度、CO₂濃度、風速、光量など）を植物にとって最適にするための研究や、スマート農業の発展に貢献するために、理工学部と共同で野菜の収穫ロボットの開発など、様々な研究が植物工場で展開されています。

● 未来の農業に触れ合う場

植物工場には、3つの栽培室と講義室が用意されており、栽培技術の習得以外にも、環境制御技術の理論を実技を交えながら深く学んでいくことができます。農学部の学生でも、このような植物工場を



オランダ式のトマト栽培設備

佐賀大学の研究力と 産学連携を牽引するURA



リージョナル・イノベーションセンター
シニアURA/農学部招へい教授

ひらやま 伸

URAの取組み



佐賀大学リージョナル・イノベーションセンター
における研究戦略

①では学内研究情報の把握・分析、企業情報の把握・分析、研究費申請支援等を行っています。②では共同研究・受託研究の橋渡し、地域連携プロジェクト企画立案等を実施しています。更に、③では科研費や競争的研究資金の申請支援を主な業務として取組んでいます。

を遂行しています。①では学内研究情報の把握・分析、企業情報の把握・分析、知財支援、広報活動、ベンチャー創出支援等を行っています。また、②では共同研究・受託研究の橋渡し、地域連携プロジェクト企画立案等を実施しています。更に、③では科研費や競争的研究資金の申請支援を主な業務として取組んでいます。

す。これらの取組みの中で、国の戦略や地域のニーズ、国連のSDGs等を踏まえ、本学の研究戦略として、(1)地域の文化・教育を支える領域、(2)低コスト型インフラ整備推進支援の3つを柱として業務を推進します。

『佐賀大学藻類研究プロジェクト(Saga University Algae Research Project=Project SA)』を立ち上げ、地域の文化・教育を支える領域、(3)持続可能なエネルギー・社会貢献領域、(4)健康長寿有価物の生産領域、(5)地域産業を支える領域、及び(6)環境改善領域について研究力強化を図っています。

地域のシンクタンク機能

また、地元企業の知財相談や技術力評価指標として企業の知財分析を行う等、シンクタンク的機能の強化を目指しています。更に、本学

学生が提案し産官学連携商品として話題となっている『よ～うかんがえる合格ようかん』では、企業との共同研究と知財に関する支援をして上市し、その結果、特許庁や首都圏の大手和菓子メーカーからも注目を浴びています。

一方、国立大学が法人化され研究費に占める競争的資金の割合が増える中、所謂、勝てる大学にすべく競争的資金申請の支援に注力し、科学技術振興機構(JST)の『未来社会創造事業(探索加速型)』

『地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)』内閣府の『戦略的イノベーション創造プログラム(SIIP)』に採択さ



本学学生提案の産官学連携商品
『よ～うかんがえる合格ようかん』

勝てる大学

一方、国立大学が法人化され研究費に占める競争的資金の割合が増える中、所謂、勝てる大学にすべく競争的資金申請の支援に注力し、科学技術振興機構(JST)の『未来社会創造事業(探索加速型)』

『地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)』内閣府の『戦略的イノベーション創造プログラム(SIIP)』に採択さ

れる等、大型研究の推進を加速しています。

佐賀大学は国立大学86校の中でも運営交付金規模30位前後の中微細藻類の培養・回収・濃縮・抽出・用途開発・残渣利用等の研究を推進中で、これによりCO₂を活用した新しい藻類産業の創出、即ち『バイオマス産業都市 佐賀』の活性化を目指しています。

大型研究の採択が活発な大学へ進化中です。今後もこの動きを拡大していきますので、是非、リージョナル・イノベーションセンターにお越しください。

頂き、地域の発展に資する大学として取組みの輪を皆様と共に広げていきたいと思います。

* URAとは

University Research Administratorの略で、研究活動の企画・運営・成果の発信まで、多種多様な業務に携わり大学全体の最適化を担う新しい職種です。

お問合せ・相談窓口はこちらまでお願いします。
<http://www.suric.saga-u.ac.jp/contact/>

バイオ3Dプリンタを使い 細胞だけでつくる 新しい人工血管の臨床研究



医学部胸部・心臓血管外科学 助教

伊藤 まなぶ 学

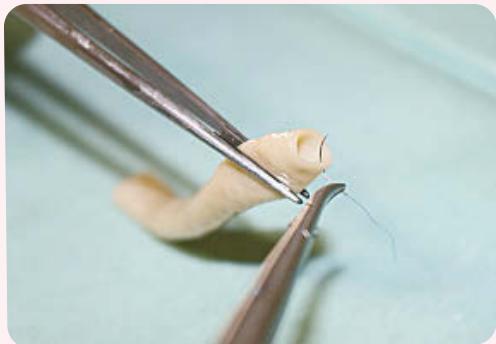


図1：細胞製人工血管の針刺しテスト

細胞製人工血管は十分な強度と厚みがあるため、実際に移植手術の時に血管を吻合するのに使用する針を刺しても裂けることはありません。

人工血管とは、病気やケガで血管が詰まり破裂したりした時に、血管の代わりとして移植される人工材料でできたチューブです。血管は、全身の臓器や組織に酸素や栄養を届ける重要な働きを持つため、その代わりとなる人工血管のニーズは高く、移植する場所に応じて、様々な太さの人工血管が医療機器として販売されています。

しかし、人工材料でできているために、人間の体にとっては異物であったり、一度感染してしまうと細菌が繁殖しやすく抗生物質での治療が難しかったりするなどの問題があります。また、腕

が医療機器として販売されています。しかし、人工材料でできているために、人間の体にとっては異物であったり、一度感染してしまうと細菌が繁殖しやすく抗生物質での治療が難しかったりするなどの問題があります。また、腕

が医療機器として販売されています。しかし、人工材料でできているために、人間の体にとっては異物であったり、一度感染してしまうと細菌が繁殖しやすく抗生物質での治療が難しかったりするなどの問題があります。また、腕

が医療機器として販売されています。しかし、人工材料でできているために、人間の体にとっては異物であったり、一度感染してしまうと細菌が繁殖しやすく抗生物質での治療が難しかったりするなどの問題があります。また、腕

が医療機器として販売されています。しかし、人工材料でできているために、人間の体にとっては異物であったり、一度感染してしまうと細菌が繁殖しやすく抗生物質での治療が難しかったりするなどの問題があります。また、腕

が医療機器として販売されています。しかし、人工材料でできているために、人間の体にとっては異物であったり、一度感染してしまうと細菌が繁殖しやすく抗生物質での治療が難しかったりするなどの問題があります。また、腕

が医療機器として販売されています。しかし、人工材料でできているために、人間の体にとっては異物であったり、一度感染してしまうと細菌が繁殖しやすく抗生物質での治療が難しかったりするため、ラットやウサギよりも大きく、体格や血管の太さがヒトに近いミニブタへの移植試験を行いました。その結果、この細胞製人工血管は、ミニブタにおいても血管として機能することが確認されました(Itoh M, et al. Nature communications)。

さらに、この細胞製人工血管を患者さんの体に移植しても安全かどうかを確認するため、細胞製人工血管を作るために使う培養液や培養皿などの資材や試薬の安全性や、細胞製人工血管は十分な強度があるなどを確認する試験を行いました。

まず、プリントされた細胞製人工血管が血管として働くかどうかを確認するため、ラットやウサギなどの小動物への移植試験を行いました。次に、ヒトの治療にも使えるかどうかを確認するため、ラットやウサギよりも大きくなり、体格や血管の太さがヒトに近いミニブタへの移植試験を行いました。その結果、この細胞製人工血管は、ミニブタにおいても血管として機能することが確認されました(Itoh M, et al. Nature communications)。

人工透析患者さんを対象とした臨床研究

この細胞製人工血管を透析患者さんに再生医療として提供する計画を2019年11月に厚生労働大臣へ提出し、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の支援のもと、株式会社サイフューズと共同で、臨床研究を開始する運びとなりました。

人工透析を行うために、腕の動脈と静脈をつないだ「シャント」と呼ばれる血管がつくれられます。この臨床研究では、「シャント」にトラブルを抱えて人工透析が行えないまたは行えなくなりそうな方を対象として実施します。細胞製人工血管を使って、シャントが詰まつたり瘤ができたりした部分を置き換えていたり迂回したりして、シャントトラブルを解消し、人工透析を継続できるようになる治療を行います。この治療に使う細胞製人工血管は、患者さんご自身のか

身の細胞を採取し、工場で培養して増やした細胞から作製します。その後、有効な治療法であることが確認できれば、保険医療として国に認められる薬事承認を取得します。また、この細胞製人工血管が、シャント用の人工血管としてだけではなく、心臓や下肢用の人工血管など幅広い範囲で使えるようになることを目指します。

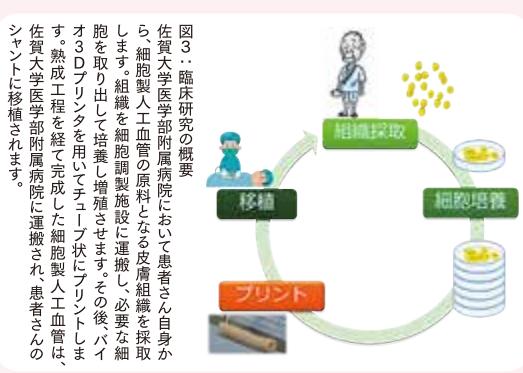
さらに、このバイオ3Dプリンタは、体内にある様々な種類の細胞をプリントすることができるため、人工血管の他にも筋肉、軟骨、靭帯など多岐にわたる組織再生の研究が行われており、今後の展開が期待されています。



図2：第15回産学官連携功労賞 日本学术会議会長賞を受賞
2017年9月に東京ビックサイトで行われた受賞式後の様子。医師であり日本人女性初の宇宙飛行士である向井千秋先生より表彰状と記念品をいただきました。
左から、伊藤・株式会社サイフューズ代表取締役の秋枝静香、中山先生、松林久美香

臨床研究のその先

この臨床研究において、細胞製人工血管がヒトにとっても安全か？血管として機能するか？を確認します。その後、有効な治療法であることが確認できれば、保険医療として国に認められる薬事承認を取得します。また、この細胞製人工血管が、シャント用の人工血管としてだけではなく、心臓や下肢用の人工血管など幅広い範囲で使われるようになることを目指します。



座圧軽減装具『フワット』

第16回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会で 経済産業大臣賞ビジネス大賞受賞

主催:日刊工業新聞社 後援:内閣府、経済産業省、文部科学省、日本経済団体連合会、日本商工会議所

私は中学・高校の6年間、自由に工を作させてくれる部活で、物づくりの楽しさの虜になり、大学も工学部を選びました。大学の工学部というものは本来、世の中の役に立つ研究しているのですが、大学の先生方は私の誰の役にも立たないプライベートな物づくりの話も専門的な知見を持って相談に乗ってくれました。また、佐賀大学附属図書館では、インターネットでは検索できない情報が得られたり、芸術分野の先生方には、学部の枠を超えて、技術や素材の部分で助言をいただきました。設備等も含め、非常に恵まれた環境で物づくりに取り組むことができました。



(図1)フワット 座った状態で、子供を高い高いするように両脇から支えることで、腰にかかる負担を軽減

そんな私は2年前、腰をつらそうにしている中山功一准教授に出会いました。中山先生は自分の腰のために、後に座圧軽減装具フワット(図1)と名がつく製品の試作第1号を試作していました。私は腰がつらくはありませんが、これはおもろい!と思いました。

初めは先生の手伝いとして関わり始めたフワットの開発ですが、中山先生が使うための開発という明確な目的とアイデアを次々試すテンポの良さに引き込まれ、アイデアを出しては、設計して、実物大で試作をし、使用感を試すという手順を繰り返し行いました。



これまでの試作品

開発を進めていたフワットは一般社団法人日本リハビリテーション工学協会が開催する福祉機器コンテストで優秀賞を頂き、商品化を期待するコメントも多く、フワットが世に出れば多くの人の役に立つのかも知れないと思いました。

多くの人に使ってもらうため、市場調査と量産の資金調達を兼ねて、クラウドファンディングを実施しました。初めての実施でしたが、目標金額280万円のところ、最終的に111人から300万円超の寄付が集まり、寄付してくださった方々にお礼の品として量産したフワットをお返しました。

その後、フワットの開発販売等をより円滑に行うために(株)山城機巧を設立し、昨年末には佐賀大学発ベンチャーの1号としての称号をいただき、大学より支援していただけるようになりました。

フワットの存在を知ってもらい、また



は装着体験をしてもらうために、イベントに出演したり、コンテストに出場したりしました。具体的には佐賀大学学生ビジネスプランコンテストや九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテストでのグランプリ獲得に続き、一般の方も参加するサガラボチャレンジカップでも優秀賞を頂きました。さらにキャンパスベンチャーグランプリ全国大会で全国一に相当する経済産業大臣賞ビジネス大賞を頂きました。

フワットに関する活動を通して学生の間に、製品の企画・開発・宣伝・販売という、大学で学ぶよりも広い範囲でのづくりを学べた事は人生の財産になると思っています。特に宣伝に関しては、作ったものが実際に世の中で使って貢えるようになる為に非常に重要ですし、大変苦労する事でもあると学びました。

大学院に進学後もフワットについての活動は続けて行きますが、今後はかねてから細々とやっている手作りのからくり人形の分野をより強化するとともに、自分の技術を向上させていきます。



サークル紹介

剣道部



男子キャプテン
なかやま はやと

中山 隼
理工学部3年



女子キャプテン
なかむら さき

中村 咲希
理工学部3年

我々剣道部は、男女約二十人で活動しながら、文武両道で全国大会出場を目指し、頑張っています。

日々の活動は、平日は毎日17時から、土曜日は9時から、毎回1時間半の短期集中で頑張っています。短時間ですが、毎日のように活動しているので、自分のスケジュールに合わせて参加でき、多くの部員がアルバイトや学業と両立しながら取り組んでいます。

大会には年5回程度出場しています。去年は男子女子共に全国大会へは出場できませんでしたが、2年前は女子が全国大会に出場しました。今年は男子女子共に、全国大会に出場出来るよう頑張ります！

学外の方とたくさんの交流があることも剣道部の魅力です。長崎大学や九州大学などの他大学の剣道部とは練習試合や合同稽古を行っています。その他にも、地元の道場の子ども達や先生方と一緒に稽古を行ったり、小中高生の試合の審判などにも積極的に参加することで、大人から子供までたくさんの方々と繋がりを持つことができます。

部活では冬にみんなで合宿を行ったり、稽古以外にも旅行に行ったり、ご飯に行ったりと部員の仲が非常に良い、とても楽しい部です。少しでも興味のある方は、是非とも見学に来てみてください。未経験者やマネージャーも募集しています。



佐賀大学医学部男子バレーボール部



主 将
ふかみかずまさ
深水一磨
医学部医学科3年



こんにちは！私たち医学部男子バレーボール部にはプレイヤー8人、マネージャー2人の計10人が在籍し、毎週火、金、土曜日に鍋島キャンパスの体育館で活動を行っています。活動は1回3時間×週3回なので、バイトや趣味など自分のやりたいことに打ち込むことができ、個々に合った大学生活を送ることができます。主な大会は4月に九州・山口医科学生体育大会、8月に西日本医科学生体育大会があり、少しでも良い結果が残せるよう、日々練習に励んでいます。

部員は経験者から初心者まで多岐に渡り、初心者でも練習を重ねることで経験者と肩を並べるほどの技術を習得することができます。バレーは難しいスポーツだと思われがちですが、コツを掴めば劇的に上達しますし、誰でも楽しむことができます。日本代表も人気急上昇中で、バレーは今とてもアツいスポーツなのです！

部員同士は学年の隔たりなくとても仲が良く、和気あいあいとした雰囲気です。練習試合を行った帰りにご飯を食べたり、県外であれば観光をして帰ったりすることもあります。女子部との仲も良く、合同でイベントを行ったり、同学年の友達同士で泊まりがけの旅行に行ったり、バレー以外でも本当に充実した日々を過ごすことができます。少しでも佐賀大学医学部バレーボール部に興味を持ってくれた方は、是非、佐賀大学医学部バレーボール部のTwitterをご覧になってください！
Twitter:@sagamed_vb



佐賀大学校友会は、在学生の海外留学、国際活動や課外活動、ボランティア活動などで頑張っている学生への支援を行っています。

佐賀大学校友会では会員になっていただける方を募集しています。



在学生保護者の皆様へ 佐賀大学校友会入会のお願い

令和2年3月吉日

佐賀大学校友会は、在学生がより良いキャンパスライフを過ごすために支援することを目的とする組織です。在学生保護者の皆様、佐賀大学卒業生、教職員、そして佐賀大学に関係のある企業・団体の皆様に会員になっていただき、会費により、在学生の国際交流や海外留学への支援、課外活動への支援及び校友相互の親交を図るための支援等を行っています。

佐賀大学は、学生を大切にし、面倒見の良い大学であることを目指しています。本学で学ぶ学生諸君が教養と知識を身につけて社会に飛び立ち、地域で活躍することによって、佐賀大学も発展していくと考えています。そのためには、佐賀大学校友会を通して、在学生の支援を地道に行っていくことが重要であると思います。

平成16年に行われた法人化によって、佐賀大学の経営は自助努力によらなければならなくなっています。本学教職員の努力は勿論のことですが、在学生保護者の皆様方、卒業生の皆様方のご理解とご支援が不可欠です。

佐賀大学校友会の活動についてご理解、ご賛同いただき、校友会にご入会いただきますようお願い申し上げます。また、会員登録されている方におかれましては会費を納入いただきますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

佐賀大学学長 児玉浩明
佐賀大学校友会会长

校友会事業の詳細については、佐賀大学校友会HPに掲載しております。佐賀大学校友会の活動についてご理解、ご賛同いただきご入会いただきますようお願いします。

詳細はこちらでご確認下さい。

佐賀大学校友会HP

<https://kouyukai.admin.saga-u.ac.jp/>

問い合わせ先

佐賀大学校友会事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1
国立大学法人佐賀大学 本部(総務部総務課内)

電話 0952-28-8154 FAX 0952-28-8921

E-mail : kouyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp



**佐賀大学オリジナル清酒
悠々知醉**

カッチーくん

銘佐
酒大

基山商店 × 佐賀大学

「悠悠知醉」とは、悠悠と酒を飲みながら知の探究に酔い、桃源郷のような雲の上でゆっくりとのんびり飲む姿をイメージしています。

●純米吟醸おりがらみ生酒 1,650円(税込)
 ●純米吟醸火入れ 1,650円(税込)
 ●山廃純米おりがらみ生酒 1,450円(税込)
 ●山廃純米火入れ 1,450円(税込)

佐賀大学生協などで販売中 佐賀大学生協 ☎0952(25)4450

令和2年度●学年暦

前学期

- 4月 1日 ● 前学期始・春季休業(4月6日まで)
- 4月 2日 ● 令和2年度入学式
- 4月 3日 ● オリエンテーション
- 4月 7日 ● 前学期開講
- 7月29日 ● 前学期定期試験(8月4日まで)
- 8月 6日 ● 夏季休業(9月30日まで)
- 9月24日 ● 令和2年度学位記授与式(9月期)
- 9月30日 ● 前学期終

後学期

- 10月 1日 ● 開学記念日・後学期始・後学期開講
- 10月 5日 ● 令和2年度大学院入学式(10月期)
- 12月26日 ● 冬季休業(1月6日まで)
- 2月 4日 ● 後学期定期試験(2月10日まで)
- 3月23日 ● 令和2年度学位記授与式(3月期)
- 3月31日 ● 後学期終

佐賀大学基金ご寄附者芳名帳(令和元年7月～令和2年1月現在)

佐賀大学基金へのご協力に、心より御礼申し上げます。ご寄附いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

【佐賀大学美術館募金】

香月 和夫様	門井 エツ子様	岸本 真哉様	久米 景次様	佐々木 寿明様	中島 洋様	藤田 正明様
藤本 勝様	宮原 瑞作様	山崎 英司様	山本 良様	他3名様		

【佐賀大学基金(一般基金)】

東 早苗様	麻生 太一様	石井 誠吾様	市川 敦士様	市山 郁夫様	江口 充治様	大坪 敏郎様
緒方 正嗣様	小川 茂様	小野恒二様	小野田 光翔様	笠原 道雄様	梶川 隆信様	梶川 正彦様
金子 正久様	川原 増美様	北川祐也様	古賀 幸子様	境 富士子様	下坂 晃司様	正林 隆子様
末永 邦雄様	染川 寿様	田尻 常二様	田中 欽二様	徳永 勇雄様	中嶋 麗子様	西河 超英様
橋本 朋雄様	林 利幸様	原憲義様	東内 正俊様	東島 與一郎様	久野 功様	本田 英樹様
峯 和彦様	三橋 彰弘様	武藤 陽一様	諸隈 宏之様	吉木 和之様	吉田 耕人様	米倉 信義様
渡邊 俊英様	他17名様					

【修学支援基金】

池田 ヨシ子様	稻村 峰雄様	江頭 泰利様	大村 直様	陣内 義守様	杉原 甫様	野中 和彦様
持永 光久様	山崎 功様	他3名様				

【課外活動支援基金(一般)】

松尾 隆一様	御手洗 永様	有馬 誠一郎様	小野寺 篤様	柏田 知美様	嘉村 朋顕様	唐田 宗一郎様
--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------

【課外活動支援基金(医学部準硬式野球部)】

小池 武宜様	須田 久雄様	木村 直也様	阪本 雄一郎様	佐々口 祐子様	下地 桐子様	白木 綾様
--------	--------	--------	---------	---------	--------	-------

【課外活動支援基金(医学部軽音楽部)】

恒富 今日子様	峰松 紀年様	竹内 美香様	原井 紹音様	久本 菜美様	佛坂 真知子様	三好 篤様
---------	--------	--------	--------	--------	---------	-------

【課外活動支援基金(熱気球部)】

諸隈 宏之様	雪本 薫平様	他8名様				
--------	--------	------	--	--	--	--

【課外活動支援基金(医学部軽音楽部)】

一ノ瀬 文男様	副島 英伸様	他1名様				
---------	--------	------	--	--	--	--

【課外活動支援基金(熱気球部)】

本多 晃一様	【院内保育所事業基金】	1名様				
--------	-------------	-----	--	--	--	--

いただいたご寄附により、奖学金の給付、課外活動の備品購入等に使用させていただきました。

今後とも更なるご支援のほどよろしくお願いいたします。

また、多数の卒業生からもご寄附をいただいております。

が、卒業生への広報活動には佐賀大学同窓会のご協力をいただいている。この場を借りて御礼申し上げます。

お問い合わせ先**佐賀大学基金事務局**

(佐賀大学総務部総務課内)

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

TEL 0952-28-8390 FAX 0952-28-8118

E-mail kikin@mail.admin.saga-u.ac.jpURL <http://www.kikin.saga-u.ac.jp>**編集後記**

この「かちがらす」は20

04年2月に、国立大学法人化が進む中、「愛される大学」

になつてほしいという願いが

ついでに、創刊しました。

42号の発行から広報室長を

拝命しました。山口夕妃子で

す。創刊の時に認められた思

いを引き継ぎながら、佐賀大

学の広報誌の役割を果たし

ていきたいたいと思います。

今回の巻頭特集では、児

玉新学長と4名の新理事の紹介をしています。令和元

(2019)年10月より新執

行部体制がスタートしまし

た。新執行部の佐賀大学への

思いを伝えています。広報誌

では、大学が今取り組んでい

ること、学生の活躍、教員の

研究成果などを皆様に伝え

ていきたいと思います。

広報室長 山口夕妃子



誌上ギャラリー

芸術地域デザイン学部・大学院地域デザイン研究科
卒業・修了作品展



有田セラミック:『なご』



視覚伝達デザイン:『MEMENT』



彫刻:『冥冥』



西洋画:『みちなるせかい』



染色工芸:『Bye-bye』



日本画:『木漏れ日』



木工芸:『What a poor carp!』



ミクストメディア:『住まうからだ』



映像デザイン:『Christmas Greeting』

佐賀大学公式
マスコット
キャラクター/
カッチーくん

今号の表紙／特集記事「佐賀大生座談会」で就職活動について語ってくれた
4年生の写真です。(本庄キャンパス内OPTIM CAFÉにて)
4月から社会へ出て、活躍してくれることを期待しています。

